

# 視聴覚教育

NO

611

発行日 55.3.1

発行所 岡崎市AVL  
編集 岡崎市AVL

編集 岡崎市AVL  
広報委員会

## 県自作視聴覚コンクール 優秀賞二を含め大量入賞

二月十九日(水)愛知県教育センターで、五十四年度、県自作教材コンクール入賞者作品発表会が開催された。

同コンクールへの作品応募は、県内全域から九十五点あり、岡崎市からもビデオ作品八点、スライド作品二点、ハミリ作品一点の計十一点が出品された。

審査の結果、市ライブラリー自作委員会制作のビデオ作品「夏すずしい駒ヶ原」をはじめ三点が優秀賞、他に優良賞一、佳作二の計六点が入賞の栄誉に輝いた。

### 優秀賞

- ・ビデオ「夏すずしい駒ヶ原」……ライブラリー自作委員会
- ・ビデオ「鳥のくらし」……ライブラリー自作委員会

- ・ハミリ「武者のほり」……ライブラリー自作委員会
- ・優良賞
- ・ビデオ「住みよい環境づくり」……市環境課・ライブラリー

### 佳作

- ・ビデオ「なす作り」……ライブラリー自作委員会
- ・ビデオ「新しい住宅地」……ライブラリー自作委員会

これらの作品は、すべて現職教育社会科部の協力によって完成したものであり、教材性に富むものばかりであるので、今後大いに活用していただきたい。

## 岡崎の視聴覚教育の一年

今年度も、昨年までの研究に基づき、個々の先生方の力量を高めることに主力を注いできた。その結果は、各種論文、「視聴覚教育実践記録集」、「岡崎の視聴覚教育」第十一集などにまとめられた。なかでも、岡崎市視聴覚ライブラリーが、「視聴覚教育の拠点としてのライブラリー運営」の論文で、「文部大臣賞」に輝いたことは大変うれしいことである。

また、承年度、視聴覚教育で研究発表を予定している美川中学校の中間発表をかねて行われた視聴覚教育研修会も盛会のうちに終えることができた。



喜ばしいできごととして、現職教育委員会視聴覚部が「教育文化賞」、自作委員会ハミリ映画「しめのむね」が全国入選、美川中学校の加藤忠彦先生が「日本放送教育協会長賞」、県自作TP作品で特選四、入選十二、佳作十三など数々の受賞の栄誉に輝いたことがあげられる。

一方、放送教育研究全国大会（岐阜）、県学校視聴覚教育研究大会（豊橋）などに多くの先生方が出席し、全国的な動向を学ぶでこられたことも、今後の研究推進に大いに役立つことであろう。そして、夏期実技講習会をはじめ、各種講習会には、多岐の先生方が参加され、意欲的な教材づくりがなされた。TP作成機を使ってのOHP講習会、カラーテレビ、カノラデンスケを使ってのVTR講習会、NHKアナウンサーによるアナウンス講習と校内放送研修会、そして、視聴覚主任を対象とした校内映像放送講習会ではビデオシステムを学んだ。

施設、設備の面からみると、視聴覚ライブラリーの保有機材の増加はもとより、今年度、TP作成機「ゼノファックス」が新たに十七校に配布され活用されている。その結果、自作TP作品に優秀なものが多く喜ばしい限りである。またVTR、ハミリ、スライドの質の高い自作教材もつくられた。教材費購入による十六ミリフィルムも巡回を終え、今後の活用が期待されている。(M.E)

## ライブラリーだより

### ◆新規購入機材紹介

- ・ワイヤレスアンプ（2・4チャンネル用）
  - ・16ミリ撮影機一式
  - ・OHP及び投影台（エルモ製品）
  - ・8ミリ映写機（2トラック用）
  - ・スクリーン（180×180及び200×200）
  - ・スライド作成機（白黒ネカから白黒スライド作製）
  - ・カセットVTR（ベータマックス）
  - ・テープデッキ・ミキサー（8チャンネル）
- ◆ 本年度の配達サービスは、

三月十一日（火）まで（回収三月十七日（金））

### 月報『視聴覚教育』の発行を終えて

広報委員会

本年度は、岡崎の視聴覚教育に関する的確で、わかりやすい情報提供をめざし、月報づくりを進めてきた。かり切りにしては、岡本孝幸先生（六南小）、岡井善光先生（南中）、三浦錫先生（緑丘小）にお願した。

「以前より親しみやすく、読みやすくなった」といっけましの声を下さるに、今後もよりよい月報にするように努力していくつもりである。

